



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.42
六甲山の植生調査
/上田英雄
2006年9月発行



植生調査の説明を聞く

第42回テーマ： 六甲山の植生調査

講演内容

- ①六甲山の代表的な森林植生
- ②植生調査方法
- ③六甲山の植生資料をよむ

実施日：平成18年9月16日(土)
午後1時～3時45分
場 所：六甲山自然保護センター内
レクチャールーム



講師：上田 英雄さん
プロフィール

1962年生まれ、京都市出身。京都府立大学農学部林学科卒。上田緑業コンサルタント代表。兵庫県立淡路景観園芸学校非常勤講師。

近畿自然歩道の整備を開始！

9月も半ばに入り、六甲山はすっかり涼しくなっていました。午前中のボランティアでは、今回から散策路整備を本格的に着手し、道沿いのササを刈りました。貴重な植物を切らないよう注意しながら進めました。参加者は19名と、過去最高記録でした。



ササ刈りでいい汗をかきました

上田さんは植生調査のプロ

セミナーには27名が参加しました。講師は、植生調査のプロである上田さんです。1年の半分近くは日本各地で植生調査をされています。まず、植生の種類や分布などについてお話していただいてから、自然保護センターを出て、実際の植生調査の現場へ向かいました。近畿自然歩道脇のスギ植林で調査のポイントや、調査票への記入の仕方など、現場で実践されているプロの観点からお話していただきました。

ササを刈ったあとの植物の出現が楽しみ

散策路整備の様子は、上田さんにも見ていただきました。講演の際には「林の縁のササ刈りは、非常に効率が良い整備方法だ」というご意見をいただきました。ササを刈った後から、どのような植物が出てくるかが楽しみです。

散策路整備に弾みがつきます

散策路の整備は市民団体が中心になって「六甲山環境整備協議会」を立ち上げて実践しています。今回の「六甲山の植生調査」というテーマで上田さんに教えていただいたことは絶好のタイミングでした。六甲山で市民が参画する活動を今後も盛り上げていきたいと思っていますので、たくさんの方のご協力をお待ちしています。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 増井 啓治さん

初参加です。自然保護センターには、すがすがしい風が吹いていました。六甲山の植物社会の特徴をどのように捉えるのか、を分かりやすく解説させるのは、植生調査のプロ上田英雄先生。樹高が低いこと、アカマツモチツツジ群集が大きな面積を占めること、ハゲ山だった昔を彷彿とさせる崩壊地、などの講義と林内での植生調査法の解説とつづく。いつの間にか植物社会に引き込まれてしまっていた。



【助成金をいただいている機関】

(財)大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、コベルコ環境保全基金、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会